

一般演題 HIV/AIDS (1) 13:00 ~ 14:00

座長 上野 貴将 (熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

潟永 博之 (国立国際医療センター)

1. HIV 侵入阻害を指向した Antibody-Drug Conjugate の創製研究

松崎 陸久 (東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所)

2. 新規 Shock-and-Kill 誘導剤 2-HSB による HIV 潜伏感染細胞排除の作用機序解析

原 雄一郎 (東京科学大学 医歯学総合研究科 生体集中管理学分野)

3. 欠損型 HIV プロウイルスは抗レトロウイルス療法中に可溶性 env を介して慢性炎症および血管障害を引き起こす

松田 幸樹 (鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 抗ウイルス療法研究分野)

4. HIV-1 の lenacapavir 耐性獲得における capsid polymorphisms の影響

青木 学 (熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科)

5. HIV remission 誘導を目指した中和抗体療法の開発

松下 修三 (熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

一般演題 COVID-19 (1) 14:10 ~ 15:10

座長 鳴海 哲夫 (静岡大学大学院 総合科学技術研究科)

馬場 昌範 (鹿児島大学 先端科学研究推進センター)

6. 不可逆的阻害剤を用いた SARS-CoV-2 3CL プロテアーゼの成熟化阻害評価

山内 勇輝 (東京薬科大学大学院 薬学研究科)

7. 高度免疫不全 HIV 患者における長期持続感染 SARS-CoV-2 の中和活性についての検討

戸山 凪 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

8. フタルイミド型 SARS CoV-2 3CL protease 阻害剤の合成とその評価

今野 博行 (山形大学大学院 理工学研究科)

9. SARS-CoV-2 感染マウスモデルにおける CD44 を標的とした免疫細胞肺流入阻害の年齢依存的な病態改善効果

野村 拓志 (熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター ウイルス病態学分野)

10. COVID-19 に有効な 3-デアザプリンスクレオシドの発見

南川 典昭 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部)

プログラム

2026 年 9 月 3 日
第 1 日目

一般演題 肝炎 (1), インフルエンザ 15:25 ~ 16:13

座長 欽田 伸好 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 難治性ウイルス感染症研究部)

田中 靖人 (熊本大学 消化器内科学)

11. テトラヒドロカルバゾール骨格を基盤とした新規 C 型肝炎ウイルス阻害剤の創製

岸川 聖 (静岡大学大学院 光医工学研究科)

12. 2'-フルオロ BCA 誘導体の合成と抗 HBV 作用の評価

熊本 浩樹 (帝京平成大学 薬学部)

13. マウスにおける牛由来高病原性 H5N1 鳥インフルエンザウイルスに対する抗インフルエンザ薬の効果

木曾 真紀 (東京大学 国際高等研究所 新世代感染症センター)

14. ウシ由来高病原性 H5N1 鳥インフルエンザウイルス感染サルに対する抗インフルエンザ薬の治療効果

今井 正樹 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 国際ウイルス感染症研究センター)

一般演題 HIV/AIDS (2) 16:30 ~ 17:18

座長 岡 慎一 (国立健康危機管理研究機構 エイズ治療・研究開発センター)

菊池 嘉 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センターACC)

15. 新規 HIV-1 膜融合阻害剤としての低分子-ペプチドコンジュゲートの創製研究

田村 壮 (東京科学大学 総合研究院 生体材料研究所)

16. Sexually transmitted coinfections among at-risk HIV-positive MSM: implications for optimal preemptive treatment

呉 宗祐 (National Taiwan University Hospital, Department of Internal Medicine)

17. HIV-1 が逆転写の鋳型とするゲノム RNA の特徴

芳田 剛 (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター)

18. HIV 感染者末梢血 B 細胞の DNA メチル化を指標とした HIV 関連リンパ腫リスクの判別

松永 章弘 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 難治性疾患研究部)

一般演題 COVID-19 (2) 9:30 ~ 10:30

座長 前田 賢次 (鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 抗ウイルス療
研究分野)

三隅 将吾 (熊本大学大学院 生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究
センター 環境分子保健学分野)

19. SARS-CoV-2 に対する血中ウイルス吸着療法の検討

吉矢 拓 (株式会社ペプチド研究所)

20. 抗 SARS-CoV-2 活性を有する新規アモジアキン誘導体の設計、合成および 生物学的評価

田中 智博 (岡山大学学術研究院 医歯薬学域)

21. スクレオタンパクを標的とした新型コロナウイルス阻害剤の開発

林 宏典 (東北大学 災害科学国際研究所)

22. SARS-CoV-2 メインプロテアーゼ阻害剤 ibuzatrelvir に対する耐性獲得機序の解明

服部 真一朗 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所)

23. 抗マラリア薬をシーズ化合物とする抗新型コロナウイルス低分子の設計・合成と活性

青木 伸 (東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科)

一般演題 肝炎 (2), 麻疹ウイルス, 重点ウイルス感染症 10:50 ~ 12:02

座長 榎本 信幸 (山梨大学)

由雄 祥代 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 免疫病態研究部)

24. 麻疹ウイルスの神経病原性進化：F 遺伝子変異に伴う「融合能頑健性」の崩壊と 神経適応

白銀 勇太 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 ウイルス制御学分野)

25. 重点ウイルス感染症に対する創薬研究基盤の構築及び抗ウイルス薬の探索

上村 健太郎 (大阪大学 感染症総合教育研究拠点)

26. 長期培養可能な iPS 細胞由来肝細胞オルガノイド (iHO) を応用したウイルス性 肝炎研究

志水 太郎 (東京科学大学 消化器内科)

27. インターフェロン- λ 3 発現誘導を促進する AhR アゴニストと JAK 活性化剤の テノフォビルとの併用効果の解析

古谷 裕 (東京慈恵会医科大学)

プログラム

2026 年 9 月 4 日
第 2 日目

28. 新規核酸アナログ E-CFCP と HBV RNA 制御薬 Bepirovirsen 併用による in vitro 抗 HBV 効果の検討

鋤田 伸好（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 難治性ウイルス感染症研究部）

29. B 型慢性肝炎において、HBsAg glycan isomer/HBsAg 比は HBsAg 低下と消失を予測する

前川 伸哉（山梨大学 消化器内科/肝疾患センター）

ランチョンセミナー

12:20 ～ 13:20

座長 木内 英（東京医科大学 臨床検査医学分野）

LS1. 免疫変容から考える B 型肝炎再活性化対策

由雄 祥代（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 免疫病態研究部）

LS2. HIV 領域における HBV 管理の重要性と将来を見据えた HIV 治療戦略

照屋 勝治（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

一般演題 HIV/AIDS (3)

13:40 ～ 14:52

座長 石坂 幸人（国立健康危機管理研究機構）

白阪 琢磨（独立行政法人国立大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター）

30. HIV 潜伏感染細胞再活性化剤を指向した DAG-gamma-ラクトン誘導体の創製研究

濱田 百花（東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所）

31. 強化学習分子生成による HIV-1 カプシド標的共有結合性阻害剤 ACAi-001 のアナログ設計

片桐 英太（熊本大学大学院 生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科）

32. 抗 HIV 療法における Intact Proviral DNA Assay (IPDA) 法を用いた評価についての検討

宮田 美保（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター）

33. 単一化合物による潜伏 HIV リザーバーの再活性化・排除を目指した新規 LRA の創製と作用機序解明

助川 明香（東京科学大学 医歯学総合研究科 ウイルス制御学分野）

プログラム

2026 年 9 月 4 日
第 2 日目

34. 日本人 HIV-1 感染者に対しビクテグラビル/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミド配合錠を投与した際の血漿中テノホビルトラフ濃度と関連する因子に関する検討
矢倉 裕輝（国立病院機構 大阪医療センター 臨床研究センター エイズ先端医療研究部）
35. HIV-Tocky-Guided Transcriptomic and Epigenomic Analyses in Primary CD4+ T Cells Define Regulatory Programs Driving Early Latency Establishment
佐藤 賢文（北海道大学大学院 医学研究院病原微生物学教室）

一般演題 COVID-19 (3), チクングニアウイルス, ピコルナウイルス

15:10 ~ 16:22

- 座長 松下 修三（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）
武内 寛明（東京科学大学 ハイリスク感染症研究マネジメント学分野）
36. ピコルナウイルス 3C プロテアーゼ阻害剤の創製を指向した構造活性相関研究
小野 日舞里（静岡大学大学院 総合科学技術研究科）
37. チクングニアウイルス阻害剤としてのアニソマイシンの同定
鈴木 陽一（大阪医科薬科大学 医学部 生物安全実験研究室）
38. 宿主 RNA 制御機構を標的とした新規 COVID-19 治療アプローチの創出
赤堀 祐一（鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）
39. オミクロン株対応 COVID-19 ワクチン誘導抗体の SARS-CoV-2 変異株に対する中和活性の比較
郭 悠（名古屋市立大学 医学部附属東部医療センター）
40. COVID-19 におけるサイレントハイポキシアに関連する因子の探索
杉山 真也（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 感染病態研究部）
41. 新型コロナウイルス S2 サブユニットを標的とする膜融合阻害環状ペプチドの創薬
渡土 幸一（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 治療薬開発研究部）

特別講演 16:40 ~ 17:40

- 座長 玉村 啓和（東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所）
- S1. 構造創薬技術による新型コロナウイルス感染症治療薬候補の開発
藤吉 好則（東京科学大学 総合研究院 細胞構造生理学研究室 CeSPL）

プログラム

2026 年 9 月 5 日
第 3 日目

モーニングセミナー

9:30 ～ 10:30

座長 満屋 裕明 (国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所)

MS1. 臨床データからみるイドビンソ®配合錠

中田 浩智 (熊本大学病院 感染免疫診療部・感染制御部)

MS2. 基礎データからみるイドビンソ®配合錠 —Islatravir を中心に—

前田 賢次 (鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 抗ウイルス療法研究分野)

一般演題 COVID-19 (4), 風疹ウイルス, MPXV

10:40 ～ 11:28

座長 坂本 直哉 (北海道大学 消化器内科)

吉村 和久 (大田区保健所)

42. 風疹ウイルスをモデルとする II 型膜融合蛋白質阻害ペプチドの構造的設計

鈴木 聡志 (国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
バイオインフォマティクス・オミクス研究部)

43. 薬剤耐性変異株を標的とした抗 MPXV 剤の構造活性相関研究

山本 寛与 (東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所)

44. SARS-CoV-2 中和活性の広域化には抗体変異の蓄積が必要である

桑田 岳夫 (熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

45. SARS-CoV-2 エンベロープ脂質を標的とした変異株非依存型感染阻害法の開発

三隅 将吾 (熊本大学大学院 生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センター
環境分子保健学分野)